

まつぼっくり



宇城市立三角小学校
学校だより 第56号
文責 校長 西村羊治
令和7年12月3日

学校教育目標「支え合い・学び合い、多様な達成感を体感し、ふるさとを愛する児童の育成」

保護者の方のがんばり

右の写真は、12月2日（火）午後8：00の三角小学校会議室の写真です。PTA役員の方が集まって会議をしている様子です。

PTAとは、「Parent-Teacher Association」の略で、日本語では「保護者と先生の会」と訳されます。これは、子どもたちの健やかな成長を目的として、保護者と教員が協力し合って活動する組織です。保護者と教員が対等な立場で協力し、学校や家庭における教育の振興、地域における教育環境の改善などを行っていきます。先日行われた

「ふれあい活動」もその一環です。この日は、そのふれあい活動の反省・PTA規約改訂の確認・来年度の新役員の選出について等を話し合いました。PTA会長の熊井様や副会長の石井様の進行で和やかに会は進んでいきました。申し訳ないのですが、私は保護者としてPTA役員になったことはありません。しかし、妻は7年ほど役員をしました。私は学校側の職員として夜のPTA役員会議には7年ほど参加しています。PTAの役員決めはほとんどの学校において難航します。理由は負担が大きいと思われるからです。30年以上教員をやってきましたが、その間時代は流れ、PTAにおいても働き方改革が進んでいると感じます。特にここ三角小学校では、会長さんはじめ皆さんすばらしい人ばかりで、とても協力的で人を思いやり、PTAの業務に関しても「やれることややらなければ

PTA役員会議



左側に熊井会長様と石井副会長様



ならないことはやるけど、できないことしなくていいことはしないで、お互い協力して、できるしこでいきましょう。」という感じで、一人に負担がいかないように、少しでも簡単にできるように工夫されます。また、熊井会長様の「困っていることがあつたら遠慮せず言ってくださいね。」との言葉かけに皆が安心されます。そして、保護者同士の協力する姿がたくさん感じられます。全国を見ればPTA活動が維持できない学校もあると聞きますが、三角小学校はたくさんのすばらしい保護者の方々がおられるので、子どものためのPTA活動は存続しています。校長としてとてもありがたく頼もしいです。お仕事や育児、地域のクラブチームの指導をされながらのPTA役員としてのボランティアの活動、本当に頭が下がります。

周りの人のために自分の時間を削ってPTAの活動をしてくださる保護者の方々に感謝です。本当にありがとうございます。（すべての保護者の方ですよ！）

協力的で意欲的なグループ協議

